

令和4年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和4年7月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和4年8月2日（火） 13：30～15：30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：(有)ミヨシ取締役社長 三好 政明先生・(有)大和インターナショナル代表遠山 一行先生
小原校長・吉川事務局長・小口教務主任・桐山広報企画部長

○小原校長より

職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていきたい。
今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1.令和4年度第1回自己評価委員会報告

令和4年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和4年度中間報告として、教育理念の1項目・学校運営の2項目・教育活動の4項目・学修成果の1項目・学生支援5項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等の遵守1項目について、
評価4について継続的に向上した部分を報告

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。

目標設定の在り方は変化してきている中、全体の質が向上してきているので高評価である。

引き続き、細部まで確認し、どう具体的に行動に移していくかが重要である。上を目指して行ってほしい。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。

今年度はより一層、生徒募集に力を入れてほしい。

（基準1） **総括** 令和4年5月22日 学園主催の「長野校新校舎竣工式典」を両校の教職員による協力体制の元、無事に執り行うことができた。

- ・コロナ禍3年目となるが、感染対策・感染者対応を臨機応変に実施している。対面授業と共に、行事活動も感染状況を鑑みつつ前向きに進めている。教師の数が足りない現状が続いているが、教師を希望する人材発掘や新任教師の育成を、教職員が協力し合って取り組む必要がある。
- ・令和3年度第45回理美容師国家試験結果
理容科6名受験 6名合格 合格率100%
美容科62名受験 実技不合格1名 学科不合格1名 合格率96.3%
- ・エステティック資格試験結果
ビューティビジネス科 12名受験 12名合格 合格率100%
- ・昨年度の反省を活かして、合格率が改善した。今後も改善課題を明確にして、全員の合格に向けた取り組みを推進する。

学校関係評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・就職部のサポート体制が整ってきているので、信頼している。引き続き、連携していく。
- ・卒業後のキャリアプランまで構築できるよう指導していく。

- (基準2) ・令和4年度行事計画はコロナ対策を万全にして、できる限り通常の手組みとして推進させる。
4月当初と6月に感染者が発生し、保健所との指示のもと休校に伴うリモート対応、課題提出等で臨機応変に生徒個別の事案に考慮して対応した。
- ・7/1 現在 保健所への感染報告者 11名
 - ・令和4年度主な校内外による行事計画
- 【・7/12 理美容甲子園地区大会（石川） ・7/16 ヘアフェスティバル（校内）
・9/23 ヘアショー（キッセイ文化ホール） ・10/20, 21 1年生修学旅行（大阪）】

学校関係評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善策

- ・コロナ影響もあるが、感染対策・予防を行いながら、在校生満足度を第一に考え、引き続き対応していきたい。

- (基準3) ・令和4年度5月の理美容科2年生実務実習を行った。5月、6月に就職ガイダンスを実施した。
(6月は感染対策を優先して2年生のみ)
- ・各学期末に行っている生徒への授業アンケート調査を新たな形式として実施する。
 - ・令和4年度4月より美容科教師1名を採用した。
 - ・6月と8月に両校交流研修会を計画した。
 - ・新任教員の育成機会を好機と捉え、教職員全員が協力して関わることで、教職員組織全般に至る指導力の向上と統一を同時進行させていく。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・在校生の意見をきちんと聞きながら、学校運営を継続して行ってほしい。

今後の改善方策

- ・授業アンケートの実施について、生徒主体の学びよりも講師への評価が多く感じられた。国家試験合格に向けての授業への要望（板書方法・わかりやすい説明など）感情的指導ではなく、目標に向かった指導をしてほしい旨を講師の先生方に伝えている。

- (基準4) ・令和4年 7/1 現在 休学者 3名
- ・1年生美容科1名（通信編入）、1年生ビューティビジネス科1名（学力不振）
 - ・2年生美容科1名（経済理由）

学校関係者評価委員コメント 三吉委員より

- ・経済的理由の退学者について、厳しい時代だと感じる。

今後の改善方策

- ・難しい家庭環境の学生も増えてきている。引き続き、退学者・休学者を出さない学校になるため、サポート体制に力をいれていきたい。

- (基準5)**
- ・5月、6月に県内外サロン来校による就職ガイダンスを実施した。
特に6月は感染対策を優先して2年生の参加を優先して、1年生の参加は見送った。
 - ・オープンキャンパスにおいて、生徒主体となるクラスごとの取り組みを進めることで、来校者に生徒の気質、学校の特色を体感できる機会とする。
 - ・7月12日理美容甲子園地区大会の準備を進めている。
 - ・7月16日ヘアフェスティバルの準備を進めている。
 - ・9月3日エステティックコンテスト（リモート選考大会）の準備を進めている。
 - ・令和4年度「給付型修学支援」対象者：1年生25名 2年生21名－20.4%
「奨学金」対象者 1年生36名 2年生33名－30.6%
 - ・令和4年度入学式から入学生の新型コロナ感染者が報告された。1学期7/1現在の保健所への感染報告者は11名。感染者発覚後の対応として、学年休校を行い自宅学習、リモート学習によって教科、実習時間を補った。
 - ・令和4年度入寮希望者に対して、女子寮24部屋が満室。女子寮第2寮として3部屋を提供した。
(コンフォートピア南松本) また、男子寮は石芝イン6部屋、メゾンリベルテ2部屋を提供した。
女子寮27名 男子寮8名 寮生総計35名
 - ・新型コロナウイルス感染者への対応は、保護者との連絡を重視して対策を決定した。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・通信制希望のお客が多いと感じている。奨学金が通信生も対象となると良いが、サロン側としても夢実現に向けて支援していきたい。

今後の改善方法

- ・就職活動において、目標の持たせ方が難しいが、今後より一層生徒に寄り添い、就職内定率100%にとらわれすぎずに、キャリアプランをきちんと考えさせ、自分たちでしっかりと調べさせ、考えさせる指導をしていく。
- ・学生支援においては、年々手厚くなってきている。学びやすい環境は整っている。
- ・在校生満足度に重点をおき、生徒たちを支えていける存在になるよう、前向きに改善していきたい。

- (基準6)**
- ・令和4年度は感染対策を徹底して、学外実習を推進していく。
 - ・5月2年生サロン実務実習・5月、6月就職ガイダンス・ビューティ「パルコイベント」
 - ・7月ヘアフェスティバル9月ヘアショー・1年生修学旅行（大阪USJ）・1月1年生サロン実務実習

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・コロナと上手くつきあいながら、就職活動や1つでも多くの思い出を作してほしい。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・今後もコロナ感染拡大が心配である。今後より一層気を引き締めて、頑張してほしい。

今後の改善方策

- ・今年度も引き続き、コロナ感染予防を実施しながら、技術面等において不足のないよう在校生満足度に重点をおき、指導していきたい。

(基準7) **総括**:今年度はより一層、生徒募集が厳しくなるため、力を入れていく。

- ・令和3年度の入学生の確保は、コロナ禍において高校生・保護者の県内進学への意識喚起につながり追い風となった。令和4年度においても同様の傾向を感じることができる。
- ・理容科、ビューティビジネス科への職業理解と入学動機を喚起して、入学生の確保に努める。特に理容科においては、理容支援サロンとの協力体制を改めて強固にしていく。
- ・2年生への就職指導は感染状況を注視して、オンライン面接指導等、臨機応変に対処していく。
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する。打ち合わせを開始している。
- ・学園HP内容リニューアル準備業者に依頼し、進めている。
- ・令和6年度実施に向けて、ネット出願準備・打ち合わせ
- ・インスタ内容・ネット広告・T i k t o kなど、SNS/WEB広告導入に向けて打ち合わせ
- ・令和5年実施に向けて入試制度・特待生・指定校の見直しをし、募集要項作成済である。
- ・特待生・指定校生の入試制度変更内容について、高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・学生募集において、オープンキャンパスが最終決定の要となるため、内容をより興味を持ってもらえるよう、検討した
- ・新入学制度説明のため、8月高校廻り実施準備を開始している。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・美容業界として、高校生への仕事の魅力を学校と一緒に伝えていきたい。学校支援サロンに学校パンフレットを配布し、置いてもらっても良いのでは。サロン現場からも学校PRしていくべきである。
お客様から聞かれたときに、お話することが出来る。(学費等)
- ・進路ガイダンスなど、一緒に参加させてもらえると、サロン現場の生の声。やりがいを伝えることが出来るのでは。協力できることは何でも協力していく。
- ・学校の魅力・カリキュラムをサロン側からも、伝えると県外への流出も若干だが、防げるのでは。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・組合側から学校と一緒にイベントをしたい想いはある。今まで以上に、学校と業界が協力しあい、美容師がやりたい職として選ばれるようにしていきたい。
- ・情報が拡散する時代だからこそ、美容師としての良い部分を学校と今以上に協力をしあい、選ばれる仕事。選ばれる学校にしてほしい。

今後の改善方法

- ・生徒募集に今まで以上に力を入れていく。
- ・サロンの方からも、お客様に仕事のやりがいや楽しさを伝えてほしい。本校の卒業生として誇りを持って活躍している姿が一番影響が大きいと感じている。
- ・学校の授業として、サロン(卒業生)が講師として来てくれ良い傾向である。
- ・今後、学校支援サロン懇談会や授業参観を実施していきたい。学校をオープンにし、理解してもらおう機会をつくってほしい。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9)・丸3年間となるコロナ禍における学校運営は、前例の無い対応が重なる事態となり判断、指示、実行、確認に混乱が生じた。年2回の自己評価、自己点検があることにより改善すべき項目が明確となり、学校運営の基盤となっている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方法

- ・自己評価をすることで、学校教育内容等を見直す良い機会となっているので、継続してより良い魅力ある学校にしてほしい。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について（別紙1・2参照）

（1）令和4年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和4年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 各行事における生徒達成感をもたせる

- 感染状況を鑑み、休止していた「ヘアフェスティバル」「ヘアショー」を計画、実施できるよう準備をしていく。
生徒主体で学習成果を発表する場として達成感を得られるよう、教職員一体となり取り組んでいく。
また、オープンキャンパスを引き続きクラス単位で行うことで、愛校心と、クラスの連帯感を持たせる。

重点目標② 生徒指導の充実

- 生徒指導における学年主任中心とした学年におけるチームティーチングの構築
 - ・担任個別指導→学年における情報共有→学年主任含む多者面談→職員全体の情報共有学年で生徒情報を共有することで、個別面談だけではなく、多くの職員の声掛け等により生徒自身の存在感を持たせ、退学、休学者を作らない学校づくりを徹底する。
- 講師との連携を深め、学科内容の把握、充実を図り、低位の生徒に対してのサポート体制を構築する。
- 感染状況に合わせた、リモート授業の継続
感染状況に応じて柔軟に対応できるよう体制を整え、学びの継続を徹底する。

重点目標③ 学生募集から就職指導の一貫指導

- 令和5年度入学生希望者を対象とした「オンライン出願」への整備と周知を進める。
- 就職指導を生活指導の延長ととらえ、就職部からの情報収集を行い、クラス担任が主体となって内定まで指導を続ける。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・現場の先生方は、大変だと思いが良い加減で、前を向いて頑張っていてほしい。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・学校の努力を改めて感じられ、サロンとしても学校に今以上に協力していきたい。
- ・大切にスタッフを育成していきたいと強く感じた。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・コロナ渦であるが、在校生満足度を上げることを軸とし、今後も引き続き、頑張っていきたい。
- ・重点目標に沿って、評価4を質の高い内容にするべく、努力していく。

3. 次回予定

令和4年度第2回学校関係者評価委員会 令和5年3月2日（木） 13:30～